

EPAハノイ便り

7月号

平成30年7月4日

ARCベトナム校発行

~ 社会文化適応研修 *~*

EPAでは、社会文化適応研修という授業を毎回、日本についての基礎知識を学びます。今月は、授業の感想や成果物を写真と共にご紹介いたします。

浴衣体験（「日本の住居・衣服について」の授業）



先生たちに手伝ってもらいながら、自分達で浴衣を着せ合いました。候補者は一度の説明で着方をマスターすることができました。帯の結び方に苦勞したようです。

下段の一番右がフエンさん（1組）、中央の薄い色の浴衣がアインさん（4組）、左から2人目がフォンさん（3組）です。



★レリー・ティ・トゥイー・フエン（1組）★

じゆぎようはとてもたのしかったです。私ははじめてゆかたをきて、うれしかったです。ゆかたはとてもきれいでした。先生はしゃんをとってくださいました。私はゆかたが好きです。ゆかたをもういちどきしてみたいです。

★チャン・ティ・フォン（3組）★

今日のじゆぎようではじめてゆかたを着て、うれしかったです。私はもつと日本の文化を知りました。私は先生に着方を教えていただきました。それから、友だちにゆかたを着せてあげました。たくさんしゃんをとって、たのしかったです。ゆかたはとてもきれいです。アオザイの着方とちがいます。どちらもきれいだと思いました。日本へはたらきに行くために、いっしょうけんめいばんきようします。

★チャン・ティ・キム・アイン（4組）★

昨日、社会文化の授業中に浴衣を着られたのは嬉しかったです。浴衣を着て、きれいになりました。私が着た浴衣はピンクで、あさがおの型が書いてありました。すてきな浴衣でした。いい写真を友達とりました。日本で働いたら、ぜひ自分の浴衣を買いたいです。今回の授業で日本のでんとうてきないしようがよくわかりました。

★豊田先生（1/5組授業担当）★

先日、社会文化の授業で浴衣体験を行いました。実は、私は自分で浴衣を着るのは初めてでした。でも、候補者の皆さんは浴衣を着るのをとても楽しみにしていました。化粧もすると言いました。ですから、私は一生懸命練習して、授業の準備をしました。皆さんは大変熱心に私やハー先生の話を聞いてくれました。私たちが一度、浴衣の着方を教えると、たくさんの方が自分で着られるようになりました。私はとてもびっくりしました。私は練習中、何度も失敗しましたから。



4組のトアさん（右）と豊田先生（左）

浴衣を着た皆さんは、きれいでしたし、ハンサムでした。たくさんすてきな写真も撮れて、すばらしい思い出になったと思います。これからも楽しい社会文化の授業ができるように私も頑張るので、皆さんもよく勉強してくださいね。

俳句作り（「俳句・川柳・標語」の授業内）

候補者が俳句作りに挑戦しました。ベトナムらしい風情のある俳句がたくさんできました。

はすの花

みずうみにさく

母の手だ

夏ははすの花がさく。はすはどろに植わる。どろは困難な生活みだ。花びらは母の手のひらみだ。いつも子供を守る。子供のために一生けんめい働く。（10組 グエン・ティ・マイ）

エアコンが
こわれて夏は
もうおわり

季語は「エアコン」。夏になってきました。エアコンが一つしかないのに、エアコンがこわれてしまいました。夏はあついです。エアコンがないから夏はもう終わります。（14組 ゴー・バン・チエウ）

弱い風

グアバの匂い

目に家族

季語は「弱い風」と「グアバの匂い」で季節は秋です。長い時間、ふるさとをはなれています。午後弱く感じて、家族を思い出します。（14組 レー・ティ・トウ）

せみが鳴く

フォンのはなさく

雨が降る

なつになって、学校をそつぎようして、友だちとわかれて、さびしいです。フォンははなのなまえです。（6組 チャン・グエン・マン）



注：フォンの花はカエンジュ（火焰樹）またはホウオウボク（鳳凰木）。ベトナムの夏である5月ごろに咲く。ベトナム人にとっては、日本の桜のように卒業を連想させる花。

雨のあと
にじがみられて
うれしいな

困ったことがおわったら、生活がよくなりますから、さびしくない。（3組 ザップ・ティ・トウ）

世界中

とぶ赤とんぼ

なつてみたい

私は世界中をとぶ赤とんぼ。一度なつてみたいですよ。（6組 レー・ティ・ジエウ・フエン）

雨がふる

川の水まし

船きれい

雨が降るとき、窓から川を見ます。川の水がとても多くなりました。船もとてもきれいです。うれしいです。（7組 グエン・ティ・フォン・ファン）

つきのぼり

あきぞらしずか

あしたいつ

ひとりでおさけのみながらつきをみます。かんがえます。しょうらいをたのしみにしています。（1組 ルオン・バン・ティエン）

